

出前講座 報告書

開催日時	平成29年8月25日(金) 13時00分～14時00分		
開催場所	伊賀の国 大山田温泉 さるびの		
申請団体等名称	一般社団法人大山田温泉福祉公社		
テーマ	さるびの温泉の今後について		
委員会名等	総務常任委員会		
出席議員	岩田佐俊(委員長)、福田香織(副委員長)、安本美栄子、山下典子、市川岳人、		
	田中覚、上田宗久、中谷一彦	記録者	福田香織

【講座・意見交換等の主な内容、対応等】

《大山田温泉福祉公社からの主な報告・意見》

- ・一般社団法人になる前から経営改善には取り組んでおり、損益分岐点を入浴者数16万5千人から14万人まで下げることが出来た。
- ・指定管理期間の平成28年度から30年度で経営を安定させて、それ以後は独立した経営が出来るようにしたい。
- ・公営温泉「さるびの」を存続させて、地域振興の核として、知名度の拡大を図っていく。
- ・「忍者トレイルランニングレース」は、新たな情報発信ツールになることを期待している。

《議員からの主な意見》

- ・大山田財産区の基金をさるびのに投入は出来ないのか？
- ・温泉施設のみではなく、食事処や他の施設も含め、売り出していくべき。
- ・平成30年度以後の事業計画をしっかりと立てて準備すべき。
- ・どことタイアップして、どのようにアピールしていくのか。連携と企画力が重要。
- ・近隣公園でグランドゴルフをする団体や、廃校体育館でスポーツをしている人達を呼び込む方策を。
- ・宿泊施設がないので、民泊・シェアハウス・大学生ホームステイなど知恵を絞ってお金を生む施策とするべき。またキャンピングカー利用者へのアピールも必要。
- ・人口減少などで来客者数が減少しても、クオリティを上げて客単価を上げる工夫が必要。
- ・地域おこし協力隊とも連携し、若者に対しての情報発信も重要。

伊賀市議会議長 様

平成29年9月11日

議会出前講座実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

総務常任委員長 岩田 佐俊